

## 背中で語る教育推進委員会計画

委員長	峯岸	広利
副委員長	新保	哲也
副委員長	福田	龍造
運営幹事	水澤	純
会計幹事	井部	真介

### <基本方針>

「子どもは大人の背中を見て育つ」という言葉があるように、大人の行動、言動、思想は子どもの人格形成に多大な影響を及ぼすものです。しかしながら、そんな大人の規範意識の欠如やコミュニケーション能力の低下などが声高に叫ばれている現状を鑑みるに、我々はこのことを頭では理解していますが、多忙な日々の中で私たちは忘れがちになっていないでしょうか。子どものために我々大人が頑張る姿勢を見せ、あたりまえのことがあたりまえにできる大人であることを再度自覚し、より広めていかなければなりません。

当委員会では、大人が大人としての自覚を持って、自ら学び、自ら実践することを背中で語る教育と位置付け、「学校教育における大人の在り方」と「家庭教育における大人の在り方」について取り組んでいきます。学校教育という観点では、より信頼される先生を目指して日々前向きに頑張っている先生及び教育関係者・教育関係団体を対象にして、更なる意識の高揚の場として頂くために「背中で語る先生」、「魅力ある先生」とはどのようなことかについて考える機会を創出します。また、上越市でも導入が決定しているコミュニティスクールに対しては、地域にある職業人としての情報網を活かし、この地域に根ざして活動を行っている方々にスポットを当てた情報発信ができる環境づくりを目指し、学校・家庭・地域・教育委員会と連携を図りながら活動します。そして、家庭教育という観点では子どもを持つ親だけでなく、これから親になる大人を対象にして、常に前向きな姿勢で今よりもなお優しさと厳しさの心を持った愛情溢れる親になることを深く認識し、実践していく意欲を育てる場を創出します。そこで得た学びを実践し、あたりまえのことを日常の中で「やってみせる」ことで親として、また大人としての成長を促す契機とします。

次代を担う子どもたちにとって我々大人は先に生まれた者として須く「先生」です。そのことを強く自覚し、ひとりの大人としてどんな生き方をしていくかが重要です。ポジティブな思考の基、前向きな生き方をすることが自分や家庭、地域や学校までも変えていく原動力になると確信します。

### 委員会職務分掌<事業内容>

1. 学校における「背中で語る教育」を推進する事業の実施
2. 家庭における「背中で語る教育」を推進する事業の実施
3. コミュニティスクールへの参画